

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

地理歴史

科目 歴史総合

教科： 地理歴史

科目： 歴史総合

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 山川出版社 歴史総合 近代から現代へ ）

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。  
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりな

【学びに向かう力、人間性等】

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を

科目 歴史総合

の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、少子高齢化、情報化、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての地理的技能や地理的な見方、考え方を習得する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。  
技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>・歴史とは何か。 【知識及び技能】諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究している。</p>	<p>・東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア・ヨーロッパを題材に、諸地域世界の形成や発展について社会的・文化的な特質について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>【知識・技能】諸地域世界の成立と発展を地図資料とあわせて理解しているか。 【思考・判断・表現】諸地域世界の特質を多面的・多角的に考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】諸地域世界の成立と発展について、主体的に課題を設定し追究しているか。</p>	○	○	○	
<p>・結びつく世界 【知識及び技能】アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革につい</p>	<p>・アジアにおける諸帝国やヨーロッパにおける主権国家体制について、大航海時代とヨーロッパ勢力の地域世界への参入、宗教改革、主権国家体制の特色について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端</p>	<p>【知識・技能】アジアにおける諸帝国や主権国家体制の成立について、各地域・各国における社会的な変容に着目し、理解しているか。 【思考・判断・表現】大航海時代や地域世界へのヨーロッパ勢力の参入、宗教改革について、課題を設定し、多面的・多角的に追究しているか。</p>				

<p>て、課題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目する等して主体的に課題を設定し、資料を活用して追求している。</p>	<p>末等で利活用する。必要に応じてオンライン教材等も活用する。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】主権国家体制の成立を現代の民主国家との違いに着目する等して主体的に課題を設定し、資料を活用して追求しているか。</p>	○	○	○	
<p>・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</p> <p>【知識及び技能】工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変革、東アジア諸地域の変動について、近代化という概念に着目して多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】大西洋三角貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究している。</p>	<p>・工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について学習する。</p> <p>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>【知識・技能】工業化の進展や市民革命、日本を含む東アジアにおける変動、国民国家の発展について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】19世紀における欧米諸国の発展や日本の明治期における変革、東アジア諸地域の変動について、近代化という概念に着目して多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】大西洋三角貿易や植民地の形成、アジア諸地域における近代化の受容や反発について主体的に課題を設定し、追究しているか。</p>	○	○	○	
<p>定期考査</p>			○	○		
<p>・明治維新と日本の立憲体制</p> <p>【知識及び技能】明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究している。</p>	<p>・明治維新の諸改革や外国との関係、文明開化や自由民権運動、大日本帝国憲法の特質について学習する。</p> <p>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>【知識・技能】明治維新の諸改革や外国との関係、立憲体制の成立について理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】日本と清・朝鮮・ロシアとの外交関係について、史料や地図をもとに考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自由民権運動や立憲体制の成立について、主体的に課題を設定し追究している。</p>	○	○	○	
<p>・帝国主義の展開とアジア</p> <p>【知識及び技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・日清・日露戦争や帝国主義の成立、世界分割、列強の二極分化について学習する。</p> <p>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>【知識・技能】帝国主義やアフリカ分割、日清戦争や日露戦争について地図資料とあわせて理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】第2次産業革命や日本における産業革命の特質、列強の二極分化について多面的・多角的に考察しているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】日露戦争の国内外における影響について、資料等をもとに意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	
<p>定期考査</p>			○	○		

2 学 期	<p>・第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしている。</p>	<p>・第一次世界大戦、ロシア革命、戦間期の国際社会の動向、大量消費社会の到来、労働運動や民族運動の高揚などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】第一次世界大戦や戦間期の国際社会の動向について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】アジア・アフリカの民族運動や大衆化などの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】第一次世界大戦後の社会の特質について学んだ概念を活用するなどして自ら積極的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	
	<p>・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・世界恐慌やファシズムの台頭、日本における軍国主義の台頭、日中戦争や第二次世界大戦、太平洋戦争などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】戦間期の国際社会の変化について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】全体主義やファシズムの特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦に至る経緯などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	
	<p>・戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦構造の歴史的な起源について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・大西洋憲章など戦時中の連合国の国際秩序の抗争や冷戦の起源、朝鮮戦争やアジアにおける植民地の独立、占領下の日本における諸改革などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・戦後の国際秩序と日本の改革 【知識及び技能】戦後の国際秩序や占領下の日本の諸改革について地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦構造の特質について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦の深まりや朝鮮戦争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
	<p>・冷戦と世界経済 【知識及び技能】冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦構造の変化な</p>	<p>・雪どけや多極化などの冷戦構造の変化や日本における高度経済成長、外交政策などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・冷戦と世界経済 【知識及び技能】冷戦の深まりや雪どけ、キューバ危機、デタント、新冷戦などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】日本の東アジア外交について資料に基づいて、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】冷戦構造の変化などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	

	<p>どについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>		か。				
	<p>・グローバル化する世界 【知識及び技能】東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・東欧革命、天安門事件、冷戦の終焉、湾岸戦争、対テロ戦争などをグローバル化の概念理解を促しながら学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・グローバル化する世界 【知識及び技能】東欧革命や冷戦の終焉などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】それまでの戦争とアフガニスタンやイラクでの戦争について、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】地域紛争などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
3 学 期	<p>・現代の課題 【知識及び技能】現代の世界および日本の諸課題などについて地図資料とあわせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題などのグローバルな課題について、資料に基づき、多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】紛争や貧困、人権をめぐる諸課題や環境問題などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしている。</p>	<p>・環境問題、地域紛争、地域統合の諸課題、貿易面での諸課題などについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</p>	<p>・現代の課題 【知識及び技能】現代の世界および日本の諸課題などについて地図資料とあわせて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題などのグローバルな課題について、資料に基づき、多面的・多角的に考察しているか。 【学びに向かう力、人間性等】紛争や貧困、人権をめぐる諸課題や環境問題などについて自ら課題を設定するなどして意欲的に追究しようとしているか。</p>	○	○	○	

教科名	地理歴史	科目名	発展地理B②	学年	3	授業形態	選択
使用教科書・使用教材				単位数	2	授業時数	78
『新詳地理B 帝国書院』 『新詳高等地図帳 帝国書院』 『新詳地理資料集COMPLETE2020帝国書院』 『2023データブック オブ・ザ・ワールド 二宮書店』 『地理用語集 山川出版社』 『2023共通テスト実戦問題集 地理B代ゼミ』							
学習目標	系統的、地誌的双方の観点を織り交ぜながら、多面的・多角的な地理的なものの見方や国際的視野を広げる。共通試験への対応も配慮する。						
授業内容	学期	単元名・学習内容	学習方法・留意事項・具体的な学習目標等				
	一学期	1部2部地理的技能・考察 1章自然環境 1 世界の地形 2 世界の気候 3 日本の自然の特徴と人々の生活 4 環境問題 2章資源と産業 1 世界の農林水産業 2 食糧問題 3 世界のエネルギー 4 世界の工業 3章人口・村落・都市 5 第三次産業 6 世界の交通・通信 7 現代社会の貿易と経済圏	自学自習できる課題プリント・配布済の問題集を指示に従って学習する。適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 世界の地形について、営力的な視点で分類し地形の成因を考察するとともに人間生活との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察しながら理解を深める。				
二学期	4章生活文化・民族・宗教 1 生活文化 2 民族と宗教 3 現代社会の国家	自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。また適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。 各地域について、地形と気候、自然、歴史、文化、民族、宗教、農林水産業、経済と経済圏、諸地域との関わりなど幅広く、多角的視野に立って考察し、深く理解を深める。また、地理的関心と理解、地理的					

の 概 要	二 学 期	<p>4 民族・領土問題</p> <p>3部地誌的考察</p> <p>1章現代社会地域区分</p> <p>2章現代社会の諸地域</p> <p>1 東アジア</p> <p>2 東南アジア</p> <p>3 南アジア</p> <p>4 西・中央アジア</p> <p>5 北アフリカとサハラ以南のアフリカ</p> <p>6 ヨーロッパ</p> <p>7 ロシア</p> <p>8 アングロアメリカ</p> <p>9 ラテンアメリカ</p> <p>10 オセアニア</p>	<p>立つて考察しなから理解を深める。大きな地理的展開を理解し地理的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。</p> <p>さらに、共通試験、難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるようにする。</p>
	三 学 期	<p>特別授業</p> <p>共通試験問題演習</p>	<p>自学自習できる課題プリントや配布済の問題集を指示に従って学習する。</p> <p>また適宜オンデマンド、双方向などオンラインを用いた授業を実施する。論述問題などに対応できる実力を養成する。個々の生徒の状況に合わせた演習・課題等を実施する。</p>
評 価 の 観 点 と 方 法	<p>評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。</p>		

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

地理歴史

科目 日本史探究

教科： 地理歴史

科目： 日本史探究

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 山川出版社 日本史探究 ）

教科 地理歴史

の目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

現代へと繋がる古代・中世社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、基礎知識を踏まえ、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究

の目標：

日本の歴史に関する基礎知識を習得した上で、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○日本文化のあけぼの 【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化・弥生文化について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化・縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしようとしている。	・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	【知識及び技能】日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしているか。	○	○	○	
○古墳とヤマト政権 【知識及び技能】前方後円墳を中心とした古墳文化の特質とその意義を基礎知識とともに理解している。	・古代国家形成の過程と社会構造の特質を理解する。 ・古代国家形成を国内のみならず、中国大陸や朝鮮半島の情勢との関わりとともに	【知識及び技能】古代国家の形成について大陸との関連と影響を含めて理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】古墳文化の展開をもとに社会の変化について考察し、表現しているか。				

1 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】前方後円墳を中心とした考古資料をもとに、古墳時代の社会構造について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】古墳時代の社会の特質と古代国家の形成期についての考察を通じて当時の文化や社会構造の特色を明らかにしようとしている。</p>	考察する。	<p>【学びに向かう力、人間性等】古代国家形成期における社会構造の変化について、その特色を明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
	<p>○飛鳥の朝廷</p> <p>【知識及び理解】律令国家へと向かう政治状況・文化的状況について、中国大陸や朝鮮半島情勢とともに理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】律令国家形成期における過程とその意義について考察し、得た情報を表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】律令国家形成期の社会の特質と飛鳥文化・白鳳文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	<p>・中央集権体制樹立へと向かう過程とその意義について理解する。</p> <p>・中央集権体制の樹立について、中国大陸や朝鮮半島の情勢との関わりの中で考察する。</p>	<p>【知識及び理解】律令国家形成へと向かう状況について中国大陸・朝鮮半島情勢との関連と影響を含めて理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】律令国家形成過程とその意義について考察し、表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】律令国家形成期における社会状況と文化の特色を明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
	<p>○律令国家の形成</p> <p>【知識及び理解】律令国家完成期の政治状況・文化的状況についての基礎知識を得て、律令体制の特質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】律令国家完成期における過程とその意義について考察し、得た情報を表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】律令国家完成期の社会の特質と天平文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	<p>・律令制度の構造と意義について理解する。</p> <p>・律令制度完成期の社会と文化の特色を考察する。</p>	<p>【知識及び理解】律令国家完成期の政治と文化について、基礎知識とともに理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】律令制度の構造と意義について考察し、表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】律令国家完成期における社会状況と文化の特色を明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
<p>○貴族政治の展開</p> <p>【知識及び理解】律令国家の変容と貴族政治の展開についての基礎知識を得るとともに、当時の社会の特色を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】律令国家の変容と貴族政治の展開と意義について考察し、得た情報を表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】貴族政治の展開とともに、弘仁・貞観文化、国風文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	<p>・貴族政治の展開と弘仁・貞観文化、国風文化について理解し、その特色と文化の担い手を考察する。</p>	<p>【知識及び理解】貴族政治の展開と文化の特色について理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】貴族政治の展開と文化の特色について考察し、表現しているか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】貴族政治の展開と文化の特色を明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		



2 学 期	<p>○地方政治の展開と武士 【知識及び理解】地方政治と武士団の発生についての基礎知識を得るとともに、当時の社会状況について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】地方政治の展開と武士団の発生について、律令体制の変容と関連させて考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令体制の変容と地方政治の展開・武士団の発生の関連性について明らかにしようとしている。</p>	<p>・地方政治の展開と武士団の発生について、律令体制の変容と関連させて、その特質を考察する。</p>	<p>【知識及び理解】律令体制の変容とともに地方政治の展開と武士団の発生との関連性について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】律令体制の変容と地方政治の展開と武士団の発生との関連性について考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】律令体制の変容と地方政治の展開と武士団の発生との関連性について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
	定期考査			○	○		
	<p>○院政と武士の躍進 【知識及び理解】院政の始まりと平氏政権、院政期の文化についての基礎知識を得るとともに、当時の社会構造の変化との関連性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】院政の特質と平氏政権について、社会構造の変容と関連させて考察し、表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】社会構造の変容と院政の始まりや特質、平氏政権の特徴について明らかにしようとしている。</p>	<p>・院政の始まりと特質、および平氏政権の特色について、社会構造の変容と関連させて考察する。 ・武士団の躍進および院政期の文化について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】貴族社会の変容とともに、院政の始まりと特質、平氏政権との関連性について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】貴族社会の変容と院政、平氏政権との関連性について考察し、表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】貴族社会の変容と院政、平氏政権との関連性について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
<p>○武家政権の成立（鎌倉時代の政治・経済・文化） 【知識及び理解】鎌倉幕府の成立と武家社会の展開、鎌倉文化についての基礎知識を得るとともに、武家政権の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】鎌倉幕府の成立と武家政権の特色について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】武家政治と鎌倉文化の特色について明らかにしようとしている。</p>	<p>・鎌倉幕府の成立と武家政治の展開と特色について考察する。 ・鎌倉文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】武家政権成立過程とともに鎌倉文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】武家政権の展開と特徴および鎌倉文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】武家政権の展開と特徴および鎌倉文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○		
定期考査			○	○			
3 学 期	<p>○武家社会の成長（室町時代の政治・経済・文化） 【知識及び理解】室町幕府の成立と政治・経済に関する基礎知識を得るとともに、室町時代の社会の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】室町時代の社会の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】室町時代の社会と文化の特色について明らかにしようとしている。</p>	<p>・室町幕府の成立と社会の特色について考察する。 ・室町文化の特色とその背景について理解する。</p>	<p>【知識及び理解】室町時代の政治・経済・文化の特色について理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】室町時代の社会の展開と特徴および室町文化の背景と特色について考察し表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】室町時代の社会の展開と特徴および室町文化の背景と特色について明らかにしようとしているか。</p>	○	○	○	
	<p>○近世・近現代の社会 【知識及び理解】近世から近現代の社会全般についてその流れを大まかに理解している。</p>	<p>・近世、近現代の社会全般について大まかな特色について考察する。</p>	<p>【知識及び理解】近世、近現代の社会全般について理解できているか。 【学びに向かう力、人間性等】近世、近現代の社会全般の動</p>				

<p>【学びに向かう力、人間性等】近世から近現代の社会の動きを概観し、その特色について明らかにしようとしている。</p>		<p>きについて明らかにしようとしているか。</p>	○		○	
<p>定期考査</p>			○	○		

高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 帝国書院 高等学校 新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 地図や地理情報システムに関わる技能を習得し、学力を定着させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理的な見方・考え方を働かせながら学習内容をまとめたり、説明したり、発表したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題に対する世界の現状をとらえ、様々な課題を身近なものとしてとらえる力をつける。

科目 地理総合 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理的環境の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、地理的な諸課題の形成に関わる現代の地理的見方・考え方を理解する。 技能：諸資料から地理的事象に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理的環境や人々の生活に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的事象に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理的環境や人々の生活の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の地理的認識を深めながら、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理と地理情報システム</li> <li>【知識及び技能】 日常生活の中で地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムのもつ特質を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の位置と時差、地図の役割と種類について学習する。</li> <li>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】 日常生活の中で地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解しているか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムのもつ特質を多面的・多角的に考察し表現しているか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・結び付きを深める現代世界</li> <li>【知識及び技能】 地図や読図などを基に日本の位置と領域について理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 世界的視野から見た日本の特質を多面的・多角的に考察し表現する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化に伴い、貿易や交通、通信・観光などについて学習する。</li> <li>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】 地図や読図などを基に日本の位置と領域について理解しているか。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 世界的視野から見た日本の特質を多面的・多角的に考察し表現しているか。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4

	を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。						
1 学期	定期考査			○	○		1
	・生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】地理的環境の変化によって変容する事について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わりに着目して、その要因を多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとする。	・世界の地形と人々の生活・気候・オセアニア・東南アジアについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地理的環境の変化によって変容する事について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】自然及び社会的条件との関わりに着目して、その要因を多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	8
	・世界の言語・宗教と人々の生活 【知識及び技能】言語や宗教が人々の生活に与えている影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の言語と宗教の特質を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。	・世界の言語・宗教・中央・西アジア・インドについて学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】言語や宗教が人々の生活に与えている影響について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から見た日本の言語と宗教の特質を多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学期	・歴史的背景と人々の生活 【知識及び技能】世界各地の歴史的背景が人々の生活に与えている影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から歴史的背景を多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解	・ラテンアメリカ・アフリカ・ロシア・ラテンアメリカ・アメリカ合衆国・東アジア・ヨーロッパ・農業・工業について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】世界各地の歴史的背景が人々の生活に与えている影響について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】世界的視野から歴史的背景を多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	10
	・地球的課題と国際協力 【知識及び技能】地球的課題に共通する課題について理解する。【思考力、判断力、表現力等】地球的課題について現状と要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を	・地球環境問題・エネルギー・人口問題・食料問題・都市問題について学習する。 ・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。	【知識及び技能】地球的課題に共通する課題について理解しているか。【思考力、判断力、表現力等】地球的課題について現状と要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	19

	視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。						
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境と防災</li> <li>【知識及び技能】自然災害の頻度や規模、備えや対応の重要性について理解する。【思考力、判断力、表現力等】防災について、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形・地震・津波・火山・気象・減災について学習する。</li> <li>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</li> </ul>	【知識及び技能】自然災害の頻度や規模、備えや対応の重要性について理解しているか。【思考力、判断力、表現力等】防災について、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	13
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活圏の調査と地域の展望</li> <li>【知識及び技能】地理的な課題解決に向けた取り組みについてについて理解する。【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的課題について、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し表現する。【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査と地域の展望についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査の準備、実施、発表について学習する。</li> <li>・教科書や副教材等を活用し、地図や資料、諸地域世界に関する動画・映像教材等を各自の端末等で利活用する。</li> </ul>	【知識及び技能】地理的な課題解決に向けた取り組みについてについて理解しているか。【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的課題について、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し表現しているか。【学びに向かう力、人間性等】生活圏の調査と地域の展望についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を追究し解決しようとしているか。	○	○	○	4
							合計

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 詳述公共（実教出版） ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて攻勢に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するために手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1編 公共の扉</p> <p>第1章 社会を作る私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 生涯における青年期の意義</p> <p>2. 青年期と自己形成の課題</p> <p>3. 職業生活と社会参加</p> <p>4. 現代社会と現代の生き方</p> <p>青年期の意義と特徴について理解し、自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解するよう学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、青年期の意義や特徴、青年期の発達課題や自己形成の課題、職業や社会参加の意義への深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>第2章 人間としてよく生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方、行為の動機となる公</p>	<p>1. ギリシアの思想</p> <p>2. 宗教の教え</p> <p>3. 人間の尊重</p> <p>4. 人間の尊重</p> <p>5. 個人と社会</p> <p>6. 主体性の確立</p> <p>7. 他者の尊重</p> <p>8. 公正な社会</p> <p>・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。</p> <p>・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

	<p>正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて学習する。</p> <p>・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。</p>	<p>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、理想的な人間の生き方についての先哲の考え方や多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
1	定期考査			○	○		1
1	<p>第3章 社会とは何か</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて学習する。</p>	<p>【知識・技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第4章 民主国家における基本原理</p> <p>【知識及び技能】 各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めさせる。</p>	<p>1. 人権保障の発展と民主政治の成立 2. 国民主権と民主政治の発展</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。</p>	<p>【知識・技能】 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義、法の支配といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち</p> <p>第1章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い</p>	<p>1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義とわが国の安全 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり</p> <p>・教科書や副教材を活用し、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに、我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて学習する。</p> <p>・一人一台端末を活用し、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6

	い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。								1
	定期考査			○	○					
	<p>第2章 日本の政治機構と政治参加</p> <p>【知識及び技能】          司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 政治機構と国民生活</p> <p>2. 人権保障と裁判所</p> <p>3. 地方自治</p> <p>4. 選挙と政党</p> <p>5. 政治参加と世論</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。</p>	<p>【知識・技能】          政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】          自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】          よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>			○	○	○		8
	<p>第3章 現代の経済社会</p> <p>【知識及び技能】          雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 経済社会の形成と変容          資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について学習する。</p> <p>2. 市場のしくみ          市場の機能、寡占や独占、外部不経済、情報の非対称性など市場機能の限界について学習する。</p> <p>3. 現代の企業          企業の社会的な役割や社会的責任を理解し、グローバル化する社会の変化に応じた課題について学習する。</p> <p>4. 経済成長と景気変動          経済の動きの指標としてのGDP、国富、景気変動、物価について、身近な視点も含めて学習する。</p> <p>5. 金融機関の働き          金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて学習する。</p> <p>6. 政府の役割と財政・租税          政府の経済活動である財政にはどのような役割があるのかを学習する。</p>	<p>【知識・技能】          雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】          自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】          よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>			○	○	○		8
	定期考査			○	○					1
2 学 期	<p>第4章 経済活動のあり方と国民福祉</p> <p>【知識及び技能】          多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p>	<p>1. 日本経済の歩みと近年の課題          戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について学習する。</p> <p>2. 中小企業と農業          これからの中小企業や農業には、どのようなことが求められているのかを学習する。</p>	<p>【知識・技能】          多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p>			○	○			1



<p>目出な経済活動を一つのことを通して、資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>とかめられているのかを学ぶ。</p> <p>3. 公害防止と環境保全 環境保護と経済成長は両立するべき概念であることを学習する。</p> <p>4. 消費者問題 民法改正による成年年齢の引き下げでさまざまな権利と責任が生まれることを学習する。</p> <p>5. 労働問題と雇用 労働契約の特性、労働法による労働者の権利保護の状況について学習する。</p> <p>6. 社会保障 社会保障の考え方を知り、それらが歴史的にどのように制度化されてきたかについて学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>はを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>第5章 国際政治の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 国際社会における政治と法 主権国家と国際社会の成り立ちについて学習する。</p> <p>2. 国家安全保障と国際連合 国際連合が世界の平和と安全の維持のために多くの専門機関や関連機関と連携していることを学習する。</p> <p>3. 冷戦終結後の国際政治 冷戦の終結で、国際社会はどのように変化したのか学習する。</p> <p>4. 軍備競争と軍備縮小 冷戦期の軍拡競争以降、世界的な運動によって軍縮が進んでいることを学習する。</p> <p>5. 異なる人種・民族との共存 差別・抑圧、紛争や内戦などの問題を解決するために、国際社会はどのような取り組みをしているのか学習する。</p> <p>6. 国際平和と日本 日本の戦後外交について、外交の三原則に基づいて進められてきたことを学習する。</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 国家主権、領土(領海、領空を含む。)、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを、他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第6章 国際経済の動向と課題</p> <p>【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p>	<p>1. 国際経済のしくみ</p> <p>2. 国際経済体制の変化</p> <p>3. 経済のグローバル化と金融危機</p> <p>4. 地域経済統合と新興国</p> <p>5. ODAと経済協力</p> <p>教科書や副教材及び、一人一台端末を活用し、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解</p>	○	○	○	5

3 学 期	<p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>決か地球的な課題であることについて学啓する。</p>	<p>を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>				
	<p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見だし、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>持続可能な地域、国家・社会、国際社会づくりのためには何が必要だろうか。 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。 ・課題の探究に当たっては、法、政治及び経済などの個々の制度にとどまらず、各領域を横断して総合的に探究する。 教科書や副教材及び、一人一台端末を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用している。 【思考・判断・表現】 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見だし、諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>定期考査</p>			○	○		1
							合計

教科名	公民	科目名	選択現社
使用教科書・使用教材			
実教出版 「高校 政治・経済」 とうほう 「政治・経済資料2023」			

学年	授業形態
3年	必修選択

単位数	授業時数
2	78

学習目標	主権者として、政治や経済に関する基本的な知識を身に付けさせるとともに、社会事象を批判的に考察する力をつけ、社会に対する関心を高めさせる。共通テストに対応できる学力を身に付けさせ、自ら学ぶ姿勢を育てる。
------	--

授業内容	学期	単元名・学習内容	学習方法・留意事項・具体的な学習目標等
	一 学 期	政治とは何か、社会の成立についての思想、法律と法の支配について理解させる。基本的人権の獲得の歴史について理解させる  世界各国の人権獲得の歴史から、現在の人権の国際的な広がりや意義について理解させる  日本国憲法の成立過程を学ばせ、三大原則の意義について理解させる。日本が平和主義を掲げている理念について理解させる。また憲法で保障された人権や、新たな人権の考え方などについて理解させる。	学習プリントを中心に、政治学習の意義を理解させる。自宅学習の場合は、学習プリントを配布し、オンラインで解説動画をアップし学習を支援する。  世界で起きている人権問題について、広い視野に立って考察できる力を育てる。 人類の人権獲得の歴史を学んだ上で、日本国憲法の人権保障の意義や、人権を保持し発展させる重要性などについて深く考察させ、主権者としてよりよい社会を築き、共に生きていく意義を理解させる。 共通テストに向けて、学んだ知識を理論的に展開して、正答を導けるように理解を深める。
二 学 期	憲法の規定をベースに、日本の民主政治の理念と三権の役割・制度について理解させる。  現在の国際社会を運営する基本理念や、国際機構の役割について理解させる。  米ソ冷戦、第三世界、多極化などの国際情勢の変化について理解させる。こうした変化の中で、日本が果たすべき役割を考えさせる。  現代に至るまでに、経済体制はどのような変化を遂げてきたのか、その背景や影響について理解させる。	これまでの人類の歩みをベースにして、現代の国際社会が築かれるまでの経過や、国際社会が共有する基本理念などについて、理論的に考察する。 第2次世界大戦後の国際社会の歴史を理解させ、現代が抱える諸問題について考察する。  現在の国際政治において、日本が果たすべき役割を考察する。  世界の経済体制の変化の歴史と、それぞれの体制の違いを理論的に考察する。	

の 概	期	<p>逐げくさたかを字ふ。資本主義とその修正、社会主義体制の違い。 経済主体、市場の仕組みと市場の限界について学ばせる。</p>	<p>に考察する。 また現在の世界では、市場機構が再び主流となっている。市場機構の利点やその問題点などを理論的に考察する。 これらの過程で経済の基本理論を習得し、入試問題などに論理的に対応できる力を養う。</p>
要	三 学 期	<p>共通テストなどの演習を用いて、学習したことを発揮する機会とさせる。</p>	<p>各自が演習に取り組むように、自学自習を目指す。また問題の解説を通して、学習内容を深める。</p>
評 価 の 観 点 と 方 法		<p>評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。</p>	

教科名	地歴公民	科目名	発展日本史B
使用教科書・使用教材			
『詳説日本史B』（山川出版社） 『詳説日本史図録』（山川出版社） 『最新詳述日本史史料集』（実教出版） 『日本史用語集』（山川出版社） 『日本史重要語句Check List』（啓隆社） 『日本史これ1冊前近代編・近代編』（清水書院）			

学年	授業形態
3年	必修選択

単位数	授業時数
6	234

学習目標	日本の歴史を広く世界史的視点に立って、政治・経済・文化などの歴史を中心に総合的に理解させ、歴史的思考力を養う。あわせて生徒のめざす難関大学の受験の学力向上を目指すことを目標とする。
------	--

授 業 内 容 の	学期	単元名・学習内容	学習方法・留意事項・具体的な学習目標等
	一 学 期	原始古代 1. 日本文化のあけぼの 2. 律令国家の形成 3. 貴族政治と国風文化  中世 4. 中世社会の成立 5. 武家社会の成長  近世 6. 幕藩体制の確立 7. 幕藩体制の展開 8. 幕藩体制の動揺	前近代（特に中世以降を中心とする）の日本史を政治史・社会経済史・文化史を中心に、広く世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。詳細な部分よりは大きな歴史的展開を理解し、歴史的考察力を深める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるようにする。
二 学 期	近代 9. 近代国家の成立 10. 近代日本とアジア  現代 11. 占領下の日本 12. 高度成長の時代 13. 激動する世界と日本	近現代の日本史を政治史・外交史・社会経済史・文化史など幅広く、世界史的視野に立って考察しながら理解を深める。大きな歴史的展開を理解し歴史的考察力を深めとともに、詳細な部分の理解にも努める。 さらに難関大学の受験に対応できる学力を身につけるために、自ら考察を深め自身の言葉で各事項を表現できるようにする。	

概 要	期	
	三 学 期	<p>特別編成授業を実施 テーマ史及び入試問題演習</p> <p>早慶上智など難関私大、国公立大学の論述問題などに対応できる実力を養成する。論述問題については随時添削指導を実施する。</p>
評 価 の 観 点 と 方 法	<p>評価は、定期考査・小テストを中心に、課題の提出状況など平常の学習活動も評価の対象とする。</p>	

教科名	地理歴史	科目名	発展世界史B
使用教科書・補助教材			
『山川出版社 詳説世界史B 改訂版』 『第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表』 『浜島書店 総合マスター世界史B』			

学年	授業形態
3	必修選択

単位数	授業時数
6	234

学習目標	現代の視点と、日本人の立場から、世界の歴史に関する基本的事項を理解させ、歴史的思考力を培う。 また、大学入試に対応できる学力の向上を図る。
------	--

	学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法)	
				学校で学習すること	
授 業 期	一	先史の世界	先史の時代 古代オリエント世界	基本事項のまとめや予習テキストをオンラインで配布し、学校で確認テストを行って定着度を確認する。適宜、オンライン授業も実施する。	
		オリエントと地中海世界	ギリシア世界 ローマ世界・イラン文明		
内 容	二	南アジアの古代文明 東アジア世界の形成と 内陸アジア世界	インドの古代文明 中国の古典文明 北方民族の活動と中国の分裂 東アジア諸地域の自立化 モンゴル民族の発展 東アジア・東南アジア世界の動向	古代史について、基本的な事項・事柄を精選して授業内容を構成し、各文明世界の特徴を理解させる。また、各文明世界同士の交流についても考察する。学習にあたっては、事項をただ暗記するだけでなく、説明をできるように指導し、思考力・判断力に加えて、表現力を育む。	
		イスラーム世界の形成と 発展	イスラーム帝国の成立 イスラーム帝国の発展 インド・東南アジア・アフリカの イスラーム化		
学 期	二	ヨーロッパ世界の形成と 発展	西ヨーロッパ世界 東ヨーロッパ世界 西ヨーロッパ世界の変容	中世の各地域世界の特徴と相互の交流について、特徴・比較・影響などを多角的に理解できるように考察していく。 また、現代世界の形成について、現在とのつながりや、日本史との関連を重視して理解を深める。	
		帝国主義と ヨーロッパの民族運動			

の 概 要	期	アジアの民族運動  二つの世界大戦	帝国主義と列強の展開 世界分割と列強対立  第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 第二次世界大戦	解を深める。 学習にあたっては、事項を覚えるだけではなく、論述問題などを通じて、思考力・判断力・表現力を高めていく。
	三 学 期	テーマ史 大学入試対策	重要テーマ史 大学入試対策問題演習	生徒ごとにそれぞれの受験に対応した対策問題を配布し、生徒が各自で入試対策に取り組めるようにしていく。そして、授業やオンラインでの解説、個別指導を行う。  問題演習と入試で問われる重要テーマ史の確認を行い、大学入試に対応できる応用力を完成させる。
評価の 観点と方法		現代世界の形成の歴史的過程と世界の歴史における各文化圏の特色について理解出来たか、また歴史的思考力を培うことが出来たか、更には、その基礎となる歴史用語・歴史的事項をおさえられたかを、定期考査、小テスト、提出物、日常の授業における態度や姿勢などにより総合的に判断し評価する。		



教科名	地理歴史	科目名	世界史B演習
使用教科書・補助教材			
『山川出版社 詳説世界史B 改訂版』 『第一学習社 グローバルワイド最新世界史図表』 『浜島書店 総合マスター世界史B』			

学年	授業形態
3	選択

単位数	授業時数
2	78

学習目標	現代の視点と、日本人の立場から、世界の歴史に関する基本的事項を理解させ、歴史的思考力を培う。現在発生中の出来事の歴史的背景を考察する。また、問題演習を通して、大学入試に対応できる学力の向上を図る。
------	--

	学期	単元名 学習項目	学習内容	家庭で学習すること(学習形態⇒確認方法)	
				学校で学習すること	
授 業 内 容	一	欧米における近代社会の成長	産業革命  アメリカ独立革命と発展  フランス革命とナポレオン時代	大学入試問題等の演習問題を配布して自宅学習に取り組み、授業で解説を行い、学習事項の定着を図っていく。適宜、オンライン授業も実施する。	
	二	欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制とヨーロッパの再編  19世紀欧米の文化	近代とは何かという問いについて、市民革命・ナショナリズム・自由主義・資本主義などをキーワードに考察し、理解を深めていく。歴史的事項の単なる暗記だけでなく、史実を通して歴史の意味を説明できるように指導する。	
内 容	一	帝国主義とアジアの民族	帝国主義と列強の展開  世界分割と列強対立  アジア諸国の改革と民族運動	登校時やオンラインで、大学入試問題等の自学用演習問題を配布し、自主的に問題演習の実践を積んでいく。そして、授業で解説・確認を行い、自習事項を定着させていく。必要に応じて、オンライン授業も実施する。	
	二	二つの世界大戦	第一次世界大戦とロシア革命  ヴェルサイユ体制下の欧米諸国  世界恐慌とファシズム諸国の侵略	現代世界の形成と展開について、現在の時事的な課題との関連を重視して考察していく。世界史の中の日本という視点も重視していく。学習にあたっては、論述問題等も活用して、現代世界を多角的に理解し、思考力・判断力に加えて表現力も育む。	

の 概 要	期		第二次世界大戦	
	三 学 期	問題演習 テーマ史学習	大学入試対策問題演習 重要テーマ史	各生徒の個別の受験に対応した入試演習問題を配布し自主的に取り組む。そして授業やオンラインで、解説や個人指導を行う。  大学入試対策の問題演習と重要テーマ史演習を通して、大学入試に対応できる実践的な応用力の完成を図る。
評 価 の 観 点 と 方 法	問題演習を通じ、現代世界の形成の歴史的過程と世界の歴史における各文化圏の地域的特色について理解できたか、また歴史的思考力を培うことができたかを、授業中における小テストならびに日常の授業態度や取り組む姿勢などにより、総合的に判断し評価する。			